

2024 年 2 月 26 日

技能実習生の失踪について

海外業務室 荒谷

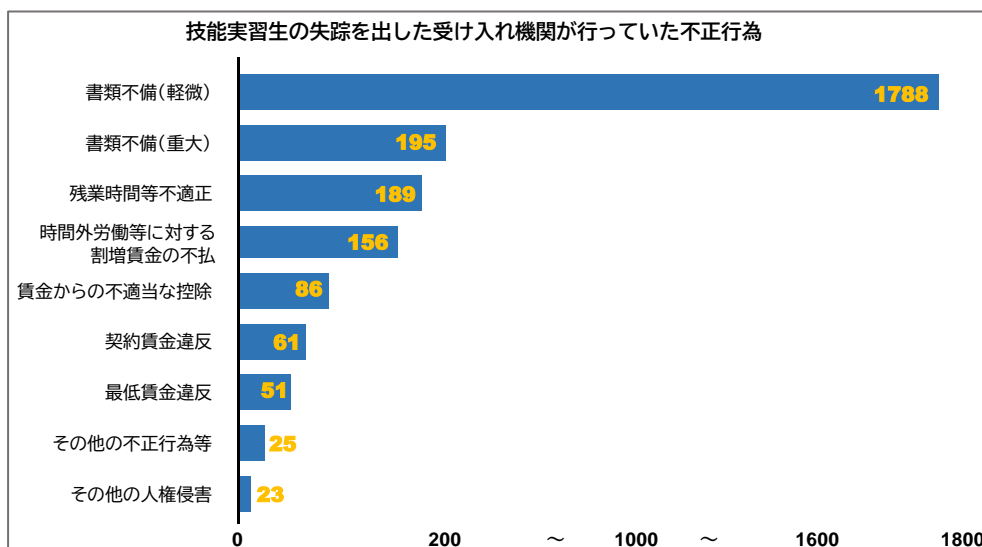
皆様、日頃の海外業務室に関わる業務並びにタイ人技能実習生へのご指導誠にありがとうございます。
海外業務室として、技能実習生の失踪問題に関して紹介させていただきます。

柿原では2015年7月にタイ王国より1期生となる6名の外国人技能実習生の受け入れを開始し、2024年2月現在、54名の技能実習生並びに特定技能生が在籍しています。タイに帰国した実習生も合わせれば、約80名ほどの実習生がタイからはるばる来日したこととなります。

技能実習生で度々問題に上がるのが『失踪問題』かと思います。なぜ失踪する実習生が増え続けるのでしょうか。

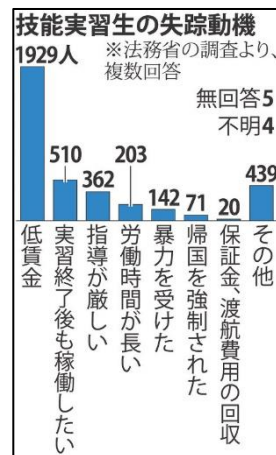
受け入れ企業は管理団体から3か月に1回以上の頻度で定期監査を受けており、認定計画に従って技能実習を行わせているか、法令に違反していないか、実習生の実習・生活態度等を細かくチェックされます。

もちろん柿原は全ての項目において違反はしておりません。しかしながら厚生労働省が2020年に行った調査では、技能実習生が働く職場の70.8%で労働基準法や労働安全衛生法違反が見つかったと報告されています。



また過去5年間の調査で違反率が7割を下回ったことは一度もないことからしても、劣悪な労働環境のもとで働かされ、多額の借金を背負って来日するが転職が認められない制度設計のため「失踪」せざるを得ない実習生が多数いる事実があります。

失踪者数の割合は過去 5 年間を通じてほぼ 2%程度で変化はありませんが、技能実習で入国する実習生が 2018 年に 32 万人と大幅に急増するにともなって、失踪者数も比例して増加しているという実情があります。



なぜ失踪する実習生が後を絶たないのでしょうか。そこには「賃金に関するトラブル」や「残業時間等の不正」「その他の人権侵害」等、受け入れ企業側の問題も多くあります。実習生の失踪を防ぐには、受け入れ企業側の法令遵守が強く関係するのです。

失踪の予兆と対策

もちろん企業側に非がなくても失踪が起きてしまう可能性はあります。失踪の前には何らかの変化があることが多いので、その変化に気づくことが失踪を防ぐポイントとなります。

主な変化と前兆については以下が挙げられます。

- 休日にも同僚も聞いたことがない友人の家に行くことが増えている
- 長期休暇以外のタイミングで母国に一時帰国したいと頻繁に相談がある
- 急に態度が悪くなる、遅刻や休むことが増える（当日連絡、連休に合わせるなど）
- コンビニで一人で携帯をいじる時間が増える(wifi 環境下のため)
- お金についての相談が増える（前払いなど）
- 在留カードの更新時期を気にする（いつまで日本に入れるのかを気にする）

もし実習生の変化に気が付いたなら、小さなことでも構いませんので海外業務室に報告して頂ければ幸いです。

1 月には 15 期生 3 名が配属され、GW 明けには 16 期生 5 名が配属予定となっています。またご指導よろしくお願い致します。